

12月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 71号

2023年2月7日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>

祝 大山町成人式



暮らしを守る物価高騰対策 …… 2~5

議員討論会

なにが必要？ 少子高齢化施策…18~19

出張！ 議員と語る会 …………… 20

PR大使のガンバレルーヤも門出を祝福

12月
定例会
ダイジェスト

物価高騰で悲鳴

Check

請願陳情

「名和公民館の バリアフリー対策を 求める請願書」を 採択

継続審査となっていた請願は、委員会審査を経て本会議で採択した。
(関連6P)



条例改正

なかやま温泉 入浴料値上げ

燃料価格高騰を指定管理者の企業努力だけでは負担しきれないため。

なかやま温泉 (サウナあり)
小学生以下 220円→250円
中学生以上 440円→500円

(近隣施設の料金)
淀江ゆめ温泉 (サウナあり) 700円
岸本温泉ゆうあいパル (サウナなし) 520円
法勝寺温泉 (サウナなし) 450円

それでも暮らしを守るため

補正予算

公共施設の 光熱費等の増額

3378万円

庁舎や公民館、学校などでエネルギー価格高騰の影響により増額する。



補正予算

米価下落影響 対策補助金

3085万円

10a当たり3740円
(1袋30kg当たり220円×17袋相当・関連4P)

令和4年産米価格の前々年との比較

鳥取西部農業協同組合 (概算金)		(円/30kg)		
品種銘柄	等級	R4価格	R2価格	差額
コシヒカリ	1等	5,550	6,700	△ 1,150
星空舞	1等	5,550	6,700	△ 1,150
ひとめぼれ	1等	5,200	6,300	△ 1,100
きぬむすめ	1等	5,200	6,300	△ 1,100

補正予算

アウトドアライフ構想推進で企業誘致めざす

企業誘致費の増額
1020万円

大山寺エリアで空き家を取得する。
本町が掲げる「アウトドアライフ構想」を推進するため、大山寺エリアにモンベルに続くアウトドアブランドの店舗誘致をめざす。



補正予算 (10月臨時会)

大山町物価高騰対策チケット事業

1億6039万円

家計負担の軽減と地域経済活性化のため全町民を対象に、町内の協賛店舗で使える商品券 (1人1万円分) を発行する。

配布開始: 令和5年2月1日
有効期限: 令和5年7月31日まで

一人当たり
500円券が20枚だよ



12月定例会

議案の質疑・討論

子宮頸がんワクチン接種費用助成

国が積極的な勧奨を控えていた期間(平成25年(令和3年)に定期接種の機会を逃し、その後、自費で接種を受けた人に費用(上限1万7830円)を助成。予算額32万円。

【池田議員】法改正により、男性も感染予防のための接種が可能になったが、男性も対象になるか。【こども課長】男性へのワクチン接種は任意接種



HPVワクチンの接種により、子宮頸がんの原因の5〜7割を防ぎます



肥料・資材の高騰も負担大きく

米価下落影響対策補助金

米価低迷により収入減少となった水稻農家に、10a当たり3740円を補助する。予算額3085万円。

【小谷議員】昨年度に続く支援だが、単価設定の根拠は。また、収入保険の加入者の状況は。

【農林水産課長】令和2年度との価格差で、今年度は1袋当たり220円を算定基礎にし、10a当た

り換算で3740円の補助額とした。令和3年度は1袋当たり250円補助だった。収入保険の加入者は1263戸で、このうち米の作付けがあるのは79戸である。



「森のようちえん」も対象に

届出保育施設等の保育料負担軽減事業費補助金

保育料無償化の対象とならない施設の保育料に補助を行う。令和4年6月定例会の陳情採択を受け、予算化された。予算額81万円。

【門脇議員】どのような施設が対象か。【こども課長】事業主が従業員のために設置する企業就労型保育園や、県が認証するところの森・里山等自然保育認証制度の認証を受けている園

【池田議員】補助の対象になる時期は。【こども課長】令和4年4月分にかかのぼって対象にする。

条例改正・その他

大山口駅前駐車場条例の二部改正

大山口駅東側の空き地を第3駐車場として整備する。

【門脇議員】現状の駐車場状況および新たに整備する第3駐車場の区画数は。

【建設課長】駅西側の第1、第2駐車場あわせ、有料区画が18、無料区画が32ある。

有料区画は主に駅前の商業店舗用であり、無料区画はJR利用者用である。第3駐車場は20区画程度を予定しており、有料・無料の別は現在検討中である。



駅前の活性化も今後の課題

【吉原議員】現状は、有料区画と無料区画が利用者によりにくいのではないかと。【建設課長】有料区画には商店名などを書いているが、わかりやすい表示を検討したい。

【岡田議員】奥側に自転車置き場があるが、自転車利用者の安全確保は。【建設課長】自転車利用者の安全に十分配慮して、区画の決定をしていきたい。

大山参道市場の指定管理者の指定

これまで大山観光局の子会社である株式会社さんどうが施設管理を行い、カフェバーカー営業や物販は株式会社モンベルホールディングスに外注されていた。令和5年4月からは、直接株式会社モンベルホールディングスが、施設管理を5年間行うことになった。

指定管理者の公募に応募したのは、一者のみであった。5年間の指定管理料は総額5415万円の予定である。

【門脇議員】物販事業での、大山町産品の販売など、選定にいたる状況は。

【観光課長】物販は、現状では町内産品が10%以下であるが、今後は地域貢献としてできるだけ地元産を扱っていくこととなる。

利用者の声を聞いているメニュー開発や、大山の情報発信もどんどんやるということを選定している。

【近藤議員】町は指定管理委託料を年1080万円支払うが、指定管理事業者は、自主事業としてカフェバーカーや物販事業を行い、1億700万円の売上と、1億600万円の経費を見込んでいる。事業者の収支計画はどこまでチエツクしたか。

【観光課長】指定管理委託料は、トイレの維持管理、情報発信、人が集う場としての運営費用としてみている。繁忙期以外は客数も少なく、自主事業の売上と経費が近い金額であることはやむをえない。



周辺への波及効果が期待される

常任委員会の活動

総務 常任委員会

窓口用TV 会議システム

Q電子計算費の詳細は。

A窓口用TV会議システムは、窓口と担当課を繋ぎ、住民対応をワンストップで実現するものである。窓口のほかにも必要な課に割り振る予定である。

総務課

公金の運用

Qどのように行なっているか。

A会計課が担当し、「大山町資金管理および運用についての方針」に基づき、副町長や財政担当課長、財政担当者からなる公金運用会議で検討実施している。債券運用の限度額は基金総額の60%以内である。

財務課

除雪機の購入補助

Q現在1/2補助だが補助率は上がらないか。また集落に貸し出すために自主組織が購入するのは補助対象になるか。

A補助率は現状で行う。今後の状況を見て制度内容の検討もある。自主組織での購入も補助対象である。

企画課

施設の現状を詳しく確認する



逢坂農産物処理加工所

12月8日、9日、12日の3日間、所管する各課から事業の説明を受け、審査した。

12日には、年末で休止する逢坂農産物加工所、町内産品陳列の確認のため参道市場、電動マウンテンバイクの保管状況の確認のため大山時間Shopの現地視察をした。

そのほか、売却予定の遊休町有地や名和公園の整備工事の現状確認も行った。

農産物加工所の改修費用

Q休止予定の逢坂農産物加工所に、令和4年度使用した改修費用は。

Aトイレの改修が37万6千円、エアコン修理が36万4千円、そのほかの修理が3万円程度である。

企画課

町有施設

Q町有施設の床面積削減の状況と計画の進捗は。

A本町は他の自治体に比べ、施設の床面積が3倍程度多い状況である。30年間で20%削減の目標を定めており、現在、目標を上回るペースで取り組んでいる。

財務課

自主組織の収益事業

Q自主組織の収益事業に必要な労務・税務などの適切な処理を考えるとハードルが高く、行政側からは収益事業をすすめることはできないのではないかと。今後のことは検討する。町としてはコンプライアンスは守っていただきたい。

企画課

みなさんからの請願・陳情はこうなりました

12月定例会で審査した請願・陳情の結果を報告します。

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
名和公民館のバリアフリー対策を求める請願書	大山町西坪 山下昭治 (紹介議員) 西本憲人	高齢者の利用が多く、適切なバリアフリー対策は必要だが、エレベーター設置は財政的に厳しい。 1階の会議室を改装し対策する検討・実施は必要。 採決の結果、採択3、不採択1で採択すべきものと決した。	採択
子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書	東伯郡湯梨浜町泊 鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	国に対して基準の見直しを引き続き求めるべきと決した。 全会一致で採択すべきものと決した。	採択 意見書提出
農産物加工所の活用と整備を求める請願書	大山町平田 山根 譲 他3名 (紹介議員) 池田幸恵	本町が負うリスクなどに関して保健所や近隣自治体への調査が必要と思われる。また、加工所休止は急遽の対応だったので、再度、住民説明が必要だと思われる。 採決の結果、全会一致で継続審査と決した。	継続審査

討論

名和公民館のバリアフリー対策を求める請願書

賛成討論

〔西本議員〕公民館の2階を利用する障がい者や高齢者が困って提出した請願で、適切なバリアフリー対策を求めるのが一番の趣旨である。決して今すぐエレベーターの設置を求める内容ではない。1階を使いやすく改装する案も良い案だ。

〔大森議員〕願意は、みんなが使いやすい公民館のため、現状のなかで、できるだけやってほしいという内容だと解釈している。

反対討論

〔門脇議員〕請願内容は、公民館にエレベーターの設置などを求めるものである。議会が請願を認めることは、税金の無駄づかいを町に求めるに等しい。

〔野口議員〕公共施設でできるバリアフリー対策はすでにしている。公民館の建て替え計画も検討されていて、現状の施設にエレベーター設置は無駄である。

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

経済建設 常任委員会

中山ふれあい倶楽部

- ◎多目的トイレ改修工事の詳細は。
- ▲建物管理者や利用者の意見を取り入れ、既存の男女共用トイレを多目的トイレに改修する。

地籍調査課

地域集積協力金

- ◎どのような農地が協力金の交付対象となるのか。
- ▲地域での話し合いにより地域の農地をまとめて農地中間管理機構に貸し付けた場合に、地域に協力金を交付する。

農業委員会

米価下落補助金

- ◎対象者と支援の内容は。
- ▲町内に住所を有する者が対象である。令和4年産米を作付けした水稻農家に対し、10a当たり3740円を交付する。ただし作付面積から自家消費相当分として一律10aを控除する。

農林水産課

図面で境界など確認した



大山口駅前東側の空き地

12月8日、9日、12日、13日の4日間、所管する各課から令和4年度補正予算ほか付託を受けた請願の説明を受け審査した。

13日には、補正予算に計上された大山口駅東側スペースや公共下水道さざんか台団地中継ポンプ制御盤、12月末で休止となる逢坂農産物加工所を視察し、あわせて請願審査を行った。

教育民生 常任委員会

生ごみ出しま宣言袋

- ◎事業開始後の申請数は。
- ▲令和4年12月14日現在、生ごみ出しま宣言の申請者数は64人である。今後、もっと増やしていきたい。

住民課

差別禁止条例

- ◎差別禁止条例の制定スケジュールは。
- ▲弁護士より「規制される差別の範囲があいまいである」と指摘があった。今後、審議会を2回経て、令和5年6月議会で条例案を上程する。

福祉介護課

マンツーマン英会話

- ◎小中学校におけるオンライン英会話事業の進捗は。
- ▲令和4年10月から民間企業と連携してスタートしている。小中学生は1回45分間、フィリピン人などの外国人講師と1対1で会話練習を行っている。

幼児・学校教育課

社会福祉協議会との意見交換会



大山町役場大山支所

12月8日から9日、12日の3日間、所管する各課から令和4年度一般会計補正予算ほか事業の説明を受け審査した。

13日は社会福祉協議会との意見交換会を実施し、全事業について説明を受け理解を深めた。また、地域福祉事業と介護サービス事業の両方を今後も継続していく方針を聞いた。

大山口駅前駐車場

- ◎大山口駅前駐車場条例の改正理由は。
- ▲大山口商店会の解散とあわせて、大山口駅前東側の空き地を駐車場とするために改正する。

建設課

電気代高騰

- ◎繰出金の詳細は。
- ▲電気代高騰にともない農業集落排水事業では14の処理区で、公共下水道事業は4施設において予算不足が見込まれるため。

水道課

コンベンション補助金

- ◎大会や合宿などを誘致する補助金だが利用状況は。
- ▲令和4年度は現時点で延べ宿泊者数は1868人で、169万9千円である。

観光課

公民館の建て替え

- ◎老朽化が進む各公民館の建て替えスケジュールは。
- ▲設計などの着手は令和7年度に計画している。それまでに町民との意見交換を重ねていく予定だ。

社会教育課

特定健診受診率

- ◎特定健診受診率の推移は。
- ▲コロナ前までは受診率は伸びていたが、近年はコロナの影響で受診率が低下傾向にある。地区別の受診状況も分析しており、今後の施策につなげたい。

健康対策課

子育てオンライン相談

- ◎事業の概要は。
- ▲スマホを使って無料で気軽に医師に相談できる。今年度トライアルで実施する。令和4年11月12日現在、41人の登録があり、相談件数は小児科5件、産婦人科1件である。

こども課

ページ	質問事項	質問議員
10	1.豊かな森林資源の維持を	杉谷 洋一
11	1.コロナ禍における不登校問題と教育支援の方針	大杖 正彦
	1.大山町の人口減少対策について	門脇 輝明
12	1.感染者数世界1である歯周病対策は	西本 憲人
	2.全員英語が話せる町はいつやるのか	
13	1.農産物加工場の活用は	池田 幸恵
	1.大山町における森林管理の現状と課題は	
	1.堆肥活用について 2.山陰道淀江インター跡地活用事業について 3.防災対策について	
14	1.フリースクールへの支援について 2.オーガニック給食・オーガニックビレッジ宣言について	豊 哲也
	1.岡山県和気町の取り組みについて (教育環境の充実、転入転出の動機調査)	
15	1.起業支援事業の拡充について 2.生活道路の改善整備支援について	島田 一恵
	1.住宅増加地域の環境整備を 2.令和5年度予算編成方針と財政運営は	
16	1.大山町のまちづくりについて	近藤 大介
	1.デジタル化とマイナンバーカードについて問う	
		大森 正治

13人が町長・教育長に一般質問を行いました。

一般質問

◆一般質問とは
議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

豊かな

森林資源の維持は

町長
さまざまな視点で検討したい



杉谷洋一 議員

【杉谷】持続的な森林環境の保護や、維持管理を強化するための森林環境譲与税の活用は。

【町長】森林経営管理制度の意向調査を中山地区で進めている。アンケート調査結果では森林整備の期待が高まっており、森林資源を守るためにさまざまな視点で検討したい。

【杉谷】山林の地籍調査の進捗よく状況は。

【町長】森林面積103・38km²に対し調査は令和3年度末54・47km²で進捗よく率52・69%、今後23年程度かかる。

【杉谷】野生動物の鹿による被害の現況は。

【町長】山林の被害報告はないが山間部での農地被害があり、捕獲奨励金も出ている。

【杉谷】山林の管理状況は。

【町長】森林組合や森林公社などが森林経営計画などに基つき間伐・植林などを実施している。

【杉谷】森林に対する愛着や生物多様性などに対する学校教育は。

【教育長】小学校は森林の恵みや林業に携わる人々、中学校では木材加工などの学習を行い、自然に対する心を育て教育を実施している。



シカ防止ネットで森を守る

不登校への対応や考えは

教育長
不登校も一つの選択肢と考える



大杖正彦 議員

【大杖】不登校が悲観的な問題とは限らない。対応に学校以外の団体などの連携・協力は。

【教育長】県の基準を満たしたフリースクールと連携している。不登校も一つの選択肢と考える。

義務教育の9年間は、社会で活躍する基盤作りの大切な時期だ。

【大杖】部活だけの登校を認めない学校が多いが本町の考えは。

【教育長】学校でやりたいことがあれば、学校行事も含め存分にやって欲しい。

【町長】子どもたちがどのような状況であって

も、良い環境を準備するのが行政の務めだ。

【大杖】生徒数が減少する過疎地では、豊かな自然の中でふるさとを体験学習で学び、ふるさと愛溢れる社会人を育てる考えは。

【教育長】ふるさと愛に満ちた子どもを育てることは、本町の教育の大きな柱だ。

【町長】学校教育のみならず、地域社会の中で能力を伸ばし、国内や世界で活躍する人材が育つ環境を作ることがふるさと大山町を思う教育になる。



動画はQRコードからどうぞ

農村型集落の衰退は

町長
知恵を絞っているが決め手がない



門脇輝明 議員

【門脇】人口減少が著しい農村型集落の衰退をどのようにとらえているか。

【町長】全国的な傾向であり、対策に知恵を絞っているが決め手がない。

【門脇】合計特殊出生率は、人口減少対策の指標としては不十分だ。出生数と相関関係にある婚姻数を指標とすべきでは。2013年の婚姻数は78件で、昨年度は27件だ。

【町長】婚姻数は出生数と相関があるように考えられる。

どの指標を使って、目標を立てるかは検討したい。

【門脇】結婚を希望する人には、さまざまな支援があるが、結婚しなくてもいい、あるいは結婚自体に興味がない人への施策は。

【町長】将来に希望を持って、結婚も視野に、今後の人生設計ができる社会づくりをしたい。

【門脇】愛するふるさとを誰が守っていくかという視点は、教育の中で取り組まれているのか。

【教育長】地域の実態も把握しながら、主体的な、気持ちを持つ教育がされている。



動画はQRコードからどうぞ

【大杖】不登校が悲観的な問題とは限らない。対応に学校以外の団体などの連携・協力は。

【教育長】県の基準を満たしたフリースクールと連携している。不登校も一つの選択肢と考える。

義務教育の9年間は、社会で活躍する基盤作りの大切な時期だ。

【大杖】部活だけの登校を認めない学校が多いが本町の考えは。

【教育長】学校でやりたいことがあれば、学校行事も含め存分にやって欲しい。

【町長】子どもたちがどのような状況であって



不登校も一つの選択肢

【門脇】結婚を希望する人には、さまざまな支援があるが、結婚しなくてもいい、あるいは結婚自体に興味がない人への施策は。

【町長】将来に希望を持って、結婚も視野に、今後の人生設計ができる社会づくりをしたい。

【門脇】愛するふるさとを誰が守っていくかという視点は、教育の中で取り組まれているのか。

【教育長】地域の実態も把握しながら、主体的な、気持ちを持つ教育がされている。



集落は守れるか

感染者数世界一の 歯周病対策は

町長 特定健診など
前向きに検討していく

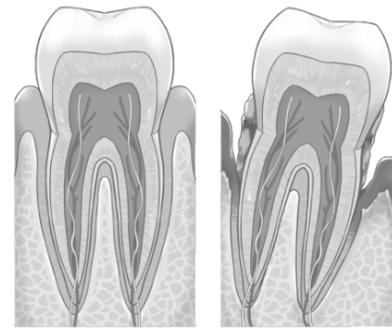


西本憲人 議員

【西本】全世界で最もまん延している病気は、歯周病とギネスブックにも載っている。成人の8割以上は歯周病の症状があり、歯周病菌が全身を回って脳梗塞・心筋梗塞・狭心症など循環器系のリスクや、糖尿病などの合併症も誘発する。

本町の歯科検診受診者数、受診率は。

【町長】令和3年度、1歳半・3歳児健診での保護者対象の歯科検診では、延べ64人で32%、また後期高齢者歯科検診では、38人で受診率1・2%である。



健康 歯周病

歯の健康が健康寿命を伸ばす

そのほか、英語教育で英語を習得しなくても、デジタルデバイスの進歩によって、学習の必要性がなくなるのではとの問いに、言語の壁はなくなるが、言語習得する行動は残るとの返答であった。

加工所の休止を 取り消さないか

町長 現時点では
検討していない



池田幸恵 議員

【池田】加工品を作り、販売までできる町内唯一の逢坂農産物加工所の休止を決めた理由は。

【町長】製造物の事故時の対応や責任について、許可取得者の大山町が負うことになっていると指摘があった。

【池田】利用者への情報提供は。

【町長】利用登録団体には説明会を行った。町民への周知としては、広報だいでせん12月号に加工所休止についての記事を掲載した。

【池田】住民説明会では、休止の理由が不明確であった。利用者との話が話し合って納得で



町民が使いやすい加工所を

きる着地点が何よりも一番大切だ。リスクがあるならばリスクについて話し合う場が必要ではないか。今回はそれが全くない。広報の記事にも理由は掲載されてなかった。

【町長】可能な限りできる方法を探っている。今後、意見交換しながらいい道を探っていきたいと考えている。

森林管理の 現状と課題は

町長 経営管理意向調査を
実施している



吉原美智恵 議員

【吉原】森林の機能は水を貯え、二酸化炭素を吸収するという重要な役割を担っている。

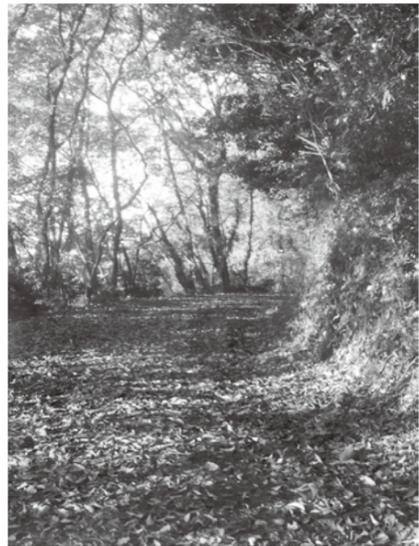
本町でも、漁業に影響を与える森林管理の現状と課題を問う。

【町長】経営管理集積計画に必要な意向調査を実施している。

【吉原】適正管理を進めるにあたり、所有者が不明であったり、荒れ放題の山といった状態の把握調査が必要ではないか。

【町長】行政もある程度手を加えていかなければいけないと考える。

【吉原】外国資本による山林の買収状況は。



森林は大山町の宝です

【町長】届出調査の結果、確認されていない。

【吉原】所有する山林の2割以下を間伐して、収入を得ながら継続していく自伐型林業の取り組みを研究しては。

【町長】県内でも事例があり、参考にしたい。

【吉原】本町の資源を生

かす森林セラピーの取り組みを進めては。

【町長】他の団体との連携を模索してみる。

【吉原】中学校の技術の授業で大山町産の木材で作品を作っては。

【教育長】取り組んでいきたい。



さらなる堆肥の普及を

町長 畜産農家を支援する



大原広巳 議員

【大原】堆肥をさらに普及するために、中山や大山地区にも堆肥センターができないか。中山の畜産クラスターや、大山里部の酪農家との連携で、効率的な散布が可能になると思うかどうか。

【町長】現時点では、名和の堆肥センターを最大限活用する。大規模酪農家との連携は今後検討したい。

【大原】散布機の大型化で、散布可能な圃場が限られている。小型散布機の導入支援や、進入路の拡張に助成できないか。

【町長】検討する。



こだわりの農産物ブランド化へ

【大原】町産堆肥を利用した、こだわりの農産物ブランド化を推進するには何が必要か。

【町長】堆肥の利用促進をはかりながら、有機JAS認証の取得に向けた支援を行いたい。

このほか、除雪機導入の補助率アップと、集落の除雪ボランティアの補助金増額の検討を要望した。

また、防災士の資格取得者拡大に向け、集落や地域自主組織にさらなるPRを要請した。

フリースクールへの

支援は

町長 月2万円を通所者に補助している



【豊】本町の公教育が抱える大きな問題は何か。

【教育長】不登校問題も大きな問題点で、本町では、横ばい傾向だが、県全体では増加傾向にあり、予断を許さない状況である。

【豊】シユタイナー教育のような自由な自己決定ができる教育環境についてどのような見解を持っているか。

【教育長】日本の義務教育の中ではなかなか難しいと思われる。

【豊】公教育で補えない部分に関して民間事業者との連携については。

【豊】民間事業者への資金的な支援は。



本町で開所予定のフリースクール

【町長】事業者補助は行っていないが、授業料にあたる通所経費は月2万円助成している。

町長 自然体験の学び場を充実させたい



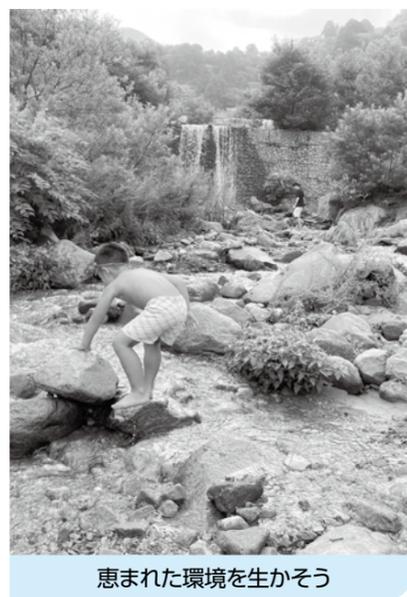
【教育長】子どもや保護者と意見交換をしながら、公民館活動を拡充していきたい。

【小谷】ぜひ進めて欲しい。和気町のように施策が移住促進につながるかを測定するため、窓口で転入転出の理由を調査しないか。

【町長】大山町アウトドアライフ構想に沿った形で、自然体験などの

【町長】町の方針として、子どもや保護者に過度の負担をかけないように、まずは学校教育の質をあげたい。

【小谷】学校教育の質を上げることに異論はない。ただ、放課後の過ごし方に悩む家庭は多いように思う。放課後の学び場といっても、机に向かう勉強だけではなく、自然体験学習なども考えられる。



恵まれた環境を生かそう

企業支援の

拡充について

町長 行政と事業者の連携をする



助金の取り組みは。

【町長】本町の課題である、空き施設や空き家などの活用を踏まえた上で、創業すれば別の課題も合わせて支援をしているが、単体での新規創業に対しては必ずしも。

このほか、生活道路の改善整備支援について質問をしました。集落内の生活道路改善整備については、原材料支給と機械借り上げの補助があり、必要な支援策は今後検討したいとの返答でした。

町民生活を守る予算は

町長 暮らしやすいまちづくりをめざす



【岡田】グローバル人材育成や、特色ある教育の充実に手厚い予算付けが必要と思つが。

【教育長】英会話ができる環境を整えることや、この大山の素晴らしい自然を生かした特色ある教育を進めたい。

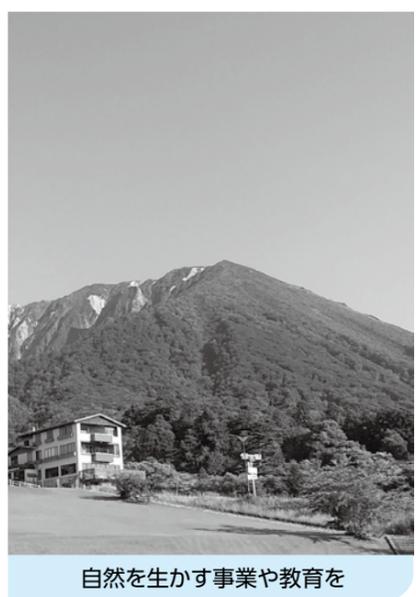
このほか、住宅増加地域の町道認定・公園整備についての質問をした。町長から、住宅増加地域は条件を満たしており、町道認定の協議を進めたい。公園は遊具設置助成のみとの答弁を得た。

【島田】「コロナ感染症の影響が続く中、新規創業する人に対しての補助金が加入しており、6割が採択基準ではないが加入のお勧めはしている。」



若者たちで改装する空き店舗

【町長】基本的に、楽しさ自給率が高く、町民みんなが暮らしやすいまちづくりに向けて、8つの視点に立った事業の充実強化および新たな取り組みを進めたい。



自然を生かす事業や教育を

協働の

まちづくり支援を

町長 検討はしていきたい



近藤大介 議員



【近藤】竹口町長がめざすまちづくりとは、どのようなものか。

【町長】誰もが暮らしやすいまちづくりであると考えている。

【近藤】地域自主組織の役割、課題は。

【町長】役割は、地域の課題解決を進めることであり、その活動が全ての住民に浸透していないことが課題と感じている。

【近藤】集落と自主組織の連携を深めるために、行政のサポートが必要ではないか。

【町長】各集落や区長さんに任せるには限界もある。自主組織



コロナ禍に負けない絆を

や行政でしっかり支援する必要があらうと思う。

【町長】趣旨には賛同する。いろいろな人がまちづくりに関わる仕組みづくりは必要であり、検討はしていきたい。

マイナンバーカードと

保険証の一体化は

町長 普及に有効だと考える



大森正治 議員



【大森】2016年に交付が始まったマイナンバーカード（以下カードと表記）は普及が進まない。そこで、政府は最大2万円付与のマイナポイントというアメ

と、健康保険証とカードの一体化を義務付けるムチを提示してきた。健康保険証を廃止して、カードと一体化することにしている。【町長】カード普及の手段としては有効と考える。

【大森】カードの取得は任意なので、カードを取得しない人も出てくる。

【町長】困る人が出ないよう、国で対策を検討している。

【大森】国が国民の個人情報を一手に握ることや個人情報の漏えいへの心配があるが。【町長】個人情報に関しては、配慮された仕組みになっている。心配はないと思う。



申請は住民課まで

臨時 時 会

10月臨時会

(令和4年10月17日)

条例改正1件、工事請負契約1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件の4議案を可決した。

一般会計補正予算 質疑

町内産の堆肥利用促進

【門脇議員】町内産堆肥の利用が増加すると追加の補正はあるのか。

【農林水産課長】予定している600tまでである。

【小谷議員】町内産堆肥散布の利用状況と、今後この取り組みは継続される予定はあるのか。

【農林水産課長】利用率は8.9%くらいである。この散布助成は令和5年3月末まで、それ以降はこれまで通りの5000円での助成を継続する。

臨時特別給付金

【西本議員】給付対象者と申請方法は。

物価高騰対策チケット

【大枝議員】応援券など、これまでの実績データはとっているのか。

【企画課長】過去の実績分データは把握している。

【池田議員】チケットを使いきれない人がいる。【企画課長】早めに使っていただけるときの準備を進めたい。

11月臨時会

(令和4年11月30日)

条例改正4件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件の8議案を可決した。

一目でわかる 審議結果

10・11月臨時会
12月定例会
提出議案

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大枝正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	結果	
12月定例会																	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意 (賛成12人)
名和公民館のバリアフリー対策を求める請願書		○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	採択 (賛成9人)	

○全会一致で議決した議案

10月臨時会／条例(1件)、補正予算(2件)、請負契約(1件) 11月臨時会／条例(4件)、補正予算(4件)
12月定例会／条例(4件)、指定管理(4件)、補正予算(12件)、請負契約(1件)、陳情(1件)、発議(1件)
議案の議決は、米本隆記議長を除く14人で行います。(10月の臨時会は豊議員は欠席でした。)

議員討論会ダイジェスト



議員全員の発言を
しっかり聞きたい方はこちらへ!

子育て施策と高齢者施策 なにが必要?

今回の議員討論会は、安心して暮らせるまちのために、大山町の子育て施策と高齢者施策をどうするかというテーマでした。竹口町長は就任以来、人口減少対策を1番に考えた施策を実施してきましたが、町民の皆さんも、もっとこうしたらとか、ここが足りないと思われることもあるのではないのでしょうか。各議員に持論を述べてもらいました。

高齢者施策

子育て施策

大杖議員



手厚い
高齢者施策を

高齢者の多くは、本町の産業を支え、町の発展、集落の維持に貢献した人たちだ。高齢者が生きがいをもって暮らせるように、子育て支援同様に、手厚い支援をしていくべきだ。

杉谷議員



社会参加を
促す施策を

高齢者がボランティア活動をすることが元気で心豊かな生活につながる。高齢者の積極的な社会参加を促すような方法をもっと検討する必要がある。

岡田議員



孤独を
癒やせる場を

高齢者がいつでも集まってコミュニケーションをとり孤独を癒やせる場が、小規模でも地区ごとに必要だ。行政主導で空き施設を改装し地域自主組織が運営する形をとれないか。

池田議員



煩雑な手続きを
簡単に

デマンドバスや老人クラブの活動など、使い方や書類申請の手続きが煩雑だという声をよく聞く。今ある施策を多くの方に利用してもらうためのサポートが何より必要だ。

吉原議員



認知症
サポーターを

認知症対策として、認知症サポーター制度が地域にもっと浸透するように工夫が必要だ。学校とも連携をして、子どもたちにも認知症サポーター制度について理解を深めてもらうことも大切だ。

豊議員



最新技術の
実証実験を

図書館など、いろいろな世代が日常的に交流できる拠点づくりに取り組むべきだ。また、高齢化の先進地として、自動運転やドローンを使った配送など、地域課題を解決するために最新技術を導入した実証実験に取り組むべきだ。

米本議長



まとめ

子育て支援や高齢者施策についていろいろな意見ができました。町の予算には限りがあるため、どこから手をつけていくのかを議会として考えていく必要があります。今後も、全世代が暮らしやすいまちになるように、町民の皆さんとの積極的な意見交換をしていきます。

西本議員



高齢者も暮らす
シェアハウスを

高齢者も暮らす公営のシェアハウスが必要ではないか。独居ではなく、見守りも必要なく、車をシェアすることによって、交通問題の解決の可能性もある。また、老後に安心して暮らすための金融教育も必要だ。

大森議員



小中学生への
教材費の補助を

子育て環境のさらなる充実のために、経済的負担軽減の施策がもっと必要だ。具体的には、小中学生への教材費の補助や、高校生の通学費の全額補助を求めたい。また、女性の負担軽減のため、男性の家事育児への参加を推進するようなまちづくりを進めるべきだ。

大学など
教育費の
負担軽減を

門脇議員



大学や専門学校にかかる教育費の負担軽減に関わる施策はもっと充実させるべきだ。現在、鳥取県に就職すると奨学金の返済を半額助成してもらえる制度があるが、町内での利用は少ない。大山町独自で、対象となる職種を増やすなど制度の拡充を検討するべきだ。

100万円の
出産祝い金を

大原議員



2人目、3人目の子どもを増やすために、100万円の出産祝い金の導入なども検討するべきだ。また、若い子育て世代に集落に戻ってきてもらうため、3世代が同居できるような増築改築への補助金整備も検討するべきだ。

町営塾や教育
クーポンの導入を

小谷議員



放課後に子どもが通える町営の自然塾など、教育環境整備が必要だ。また、多様な学びの選択肢を確保するために教育クーポンの導入も考えたい。学習塾、スポーツ教室など、町内の学び場に通う人の月謝負担を補助することで、経済的事情に関わらず子どもが学びを深められるだけでなく、教育関連事業者の町内進出や起業にもつながる。

町内施設で
病児保育を

島田議員



働きながら子育てをする家庭にもっと支援が必要だ。例えば、町内施設で病児保育ができる体制を整えるべきだ。また、子どもが安全に登校できるように、通学路の除雪をきちんとできる仕組みづくりも必要だ。

独身者を
結婚へ向け

野口議員



我が町の子育て支援策や教育環境の充実はずでにハイレベルだ。そのなかでも、さらに今後、大切なのは、女性がもっと働きやすいような環境をつくることと、独身者が多いので、独身者をもっと結婚に導くような施策が必要だと思う。

人口減少対策の
調査特別委員会を

近藤議員



各施策を本当に実現するために、議会のなかで人口減少対策に関する調査特別委員会の立ち上げが必要だ。人口減少対策として子育て支援のあり方や優先順位などを議論し、政策提案ができるような場をつくりたい。

あなたの声が町を動かす

議員と語る会



集落単位だと参加しやすくいいね

これからも続けてほしいです

行政に寄せられた要望と回答



デマンドバスの使い勝手が悪い。また申し込みの簡素化はできないか。

タクシーと同等のサービスは行えない。予約については、デマンドバス車内でも可能である。

選挙時の選挙区と比例区の投票箱がわかりづらい。

今後、投入口付近に選挙名を表示するか検討する。

町への集落要望で、その後の進ちょく状況の報告がない。

総務課から各課へ報告するよう周知した。

公園が少ない。小規模で近い公園が必要だ。

自治会単位の整備事業はないが、遊具設置にコミュニティ助成制度あり。土地確保できれば相談を。

集落の自主防災組織で、防災士資格取得に補助はないか。

研修費用が1万2800円、登録費が5000円。自主防災組織育成補助金で対応していただきたい。

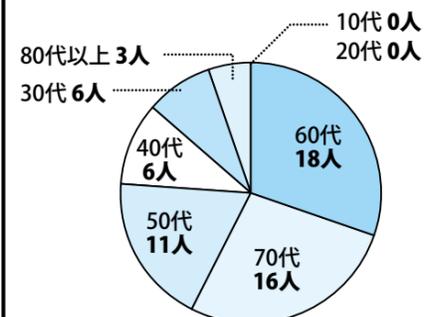
県のえんトリー登録への支援だけでなく、地域自主組織で行っている婚活支援活動にも支援してほしい。

婚活支援の取組みはありがたいが、組織の活動補助金を活用していただきたい。

今年度2回目の議員と語る会を、11月に6カ所の集落に出向いて行いました。身近な話題から町の政策まで、幅広い意見交換ができました。次回は3月定例会後に開催する予定です。

参加者60人(前回37人)
 中山地区：21人 北御崎、八重
 名和地区：10人 西坪
 大山地区：29人 前、宮内、栄

参加者の年代構成
 50代から70代で全体の75%を占め、30代から40代の方も参加いただいた。今後は、より若い世代や女性の参加も増やしていけるよう企画していきたい。



さようなら 森本貴之議員

去る令和4年11月に森本議員が急逝されました。

～ 追悼の詞 ～

初めてあなたと出会ったのは、5年半前の選挙説明会の時でした。大きな声で「よろしくお願いします」と挨拶してくれたのが思い出されます。

あれから5年余りの付き合いでしたが、あなたは1年また1年と成長していきました。

議会では議会改革調査特別委員会の副委員長や教育民生常任委員会の委員長、議会運営委員会の副委員長などを歴任して、大山町議会の要としてみんなから頼りにされる存在となっていました。



在りし日の森本議員

また、議会の外では、自民党県連の青年部役員や、日本赤十字奉仕団大山支部副会長、大山西小PTA会長などで精力的に活動していました。高校時代から始めたボクシングのトレーナーや、農業では水稲栽培にも力を入れていました。

根っから何事もまじめに真摯に取り組み、その誠実な活動ぶりは、皆から信頼されていました。時にはブラックユーモアを飛ばして、大拍手の時もありました。

さて、残された私達は、森本議員の果たせなかった分まで、大山町発展のために尽力することをここに誓います。

ありがとうございます、本当にありがとうございます。天よりいつまでも私達を見守って下さい。さようなら。さようなら。ご冥福を心よりお祈りいたします。

以上、追悼の詞といたします。

令和4年11月30日

大山町議会議員代表 大原 広巳

欠員の補充

この度、森本貴之議員の死去による大山町議会は1人の欠員を生じましたが、公職選挙法の規定により、現状では繰上げ補充・補欠選挙ともに行われません。

新委員会構成

欠員1議席にともない、議会の委員会構成が次のように決まりました。

議会運営委員会

委員長／杉谷洋一
 副委員長／大杖正彦
 委員／門脇輝明 岡田 聡
 池田幸恵

教育民生常任委員会

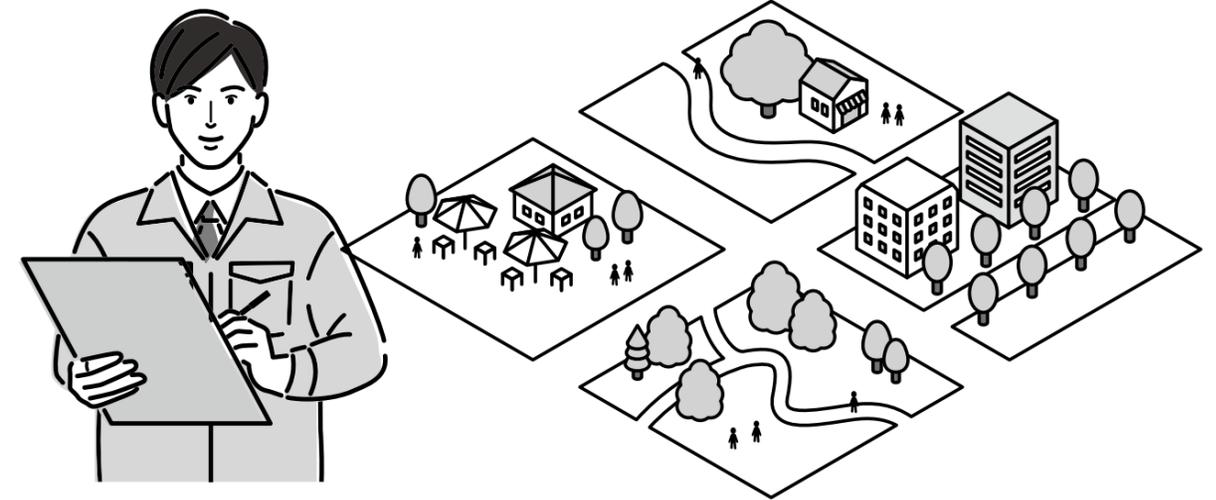
委員長／岡田 聡
 副委員長／小谷英介
 委員／野口俊明 近藤大介
 吉原美智恵

広報常任委員会

委員長／池田幸恵
 副委員長／西本憲人
 委員／近藤大介 大原広巳
 門脇輝明 島田一恵
 豊 哲也 小谷英介

行政 視察報告

大山町議会では、他地域の先進的な取り組みを町政に生かすため、今年度は3つの委員会に分かれて視察を行っています。毎回テーマを持ち、視察先で意見交換会を開くなど議論を深めています。新型コロナウイルス感染症の影響で3年振りの視察となりました。



教育民生常任委員会

将来的な校区の維持や、魅力的な教育環境整備を行うため、大田市の山村留学を視察した。山村留学とは、自然豊かな地方に小中学生が1年単位で留学する仕組み。本町にはすでに豊かな自然があり、体験プログラムの創出も可能ではないか。地元の子もたちと一緒に協働できるプログラムがあれば、ゆくゆくIターンに繋げ

ることもできる。

また「英語教育のまち大山町」を推進する中で、各家庭の経済状況に左右されない、等しく学べる公営塾の視察を和気町で行った。早島町ではボランティアポイント制度を導入しており、ご年配のボランティア参加を進め、介護予防や生きがいづくりに繋げているという。

時期／令和4年11月17日～11月18日

視察先／島根県大田市・広島県府中市・岡山県和気(わけ)町・岡山県早島町

視察内容／公営塾、全天候型の交流施設、ボランティアポイントによる地域活性、山村留学など



ボランティアポイントを学ぶ

経済建設常任委員会

注目を集めているレンタサイクル事業を視察した。「SORAPA」では空港内にサイクルステーションを設置し、国内外の方に向けたレンタサイクル事業を展開している。今後、本町でレンタサイクルを検討する際には、多種多様な需要に合わせた利用者目線が必要になる。また観光という点では「とさてらす」も参考になった。各施設で

特典の得られるパスポートをつくり、回遊する仕掛けを創出していた。さらに板野町の「道の駅」では観光拠点だけではなく、次世代のエネルギー拠点、あるいは災害に備えた防災拠点にもなっていた。「道の駅」は地域経済の発展と住民の福祉、防災拠点整備などを兼ね備えた複合的なものにできると学んだ。

時期／令和4年11月16日～11月17日

視察先／愛媛県今治市・モンベルアウトドアアシス石鎚店・高知観光情報発信館とさてらす・徳島阿波踊り空港交流施設SORAPA(そらば)・徳島県板野町

視察内容／地産地消と食育、楽しめる観光案内所、レンタサイクルなど



観光の窓口 とさてらす

総務常任委員会

美瑛町では消費が町外へ流れてしまう対策として、地域内のみで使用できる電子地域通貨を導入している。また、ボランティアをすることでポイントが付与されるなど行政施策とも連動して、店舗数を伸ばしている。潤う事業者が限定されてしまう危惧はあるが、地域経済を活性化するため、本町でも検討の余地があるのではないかと。

また芽室町、浦幌町では議会改革についての視察も行った。特に浦幌町では「情報公開」や「住民参加」を進めるために日曜議会、ナイター議会など、住民との接点を増やす取り組みをしている。本町議会でもイベントで対話できるブースを設けることなどが考えられる。

時期／令和4年10月5日～10月7日

視察先／北海道美瑛(びえい)町・茅室(めむろ)町・浦幌(うらほろ)町

視察内容／電子地域通貨による地域活性、議会改革の取り組みなど



カフェ DE 議会を行う浦幌町議会

みんなのひろば わたしのお気に入りの場所



いりえ ひなた
入江 陽太 (大山西小)

とても絶景
大山の山頂

ぼくのお気に入りの場所は大山の山頂です。大山は春夏秋冬の景色がともきれいだからです。山頂まで登って、そこから見える景色もきれいで、とてもやされます。そして、登ったときの達成感もあり

ます。登る場所によって景色が変わり、景色を楽しみながら登ることが出来ます。

ぼくは、この大山をもっと知り、大山の魅力を広めたり、大山の清掃活動や一木二石運動にも参加したりして、大山のために貢献していきたいと思えます。そして、大山をより良くしていくために自分にできることを考え、実行していきたいようにしたいです。



にしはら なな
西原 那菜 (大山小)

大山寺周辺

わたしの大山町のお気に入りの場所は大山寺周辺です。なぜかというところからよく行っていた場所だからです。ちび行列でがんばって歩いた参道だけでなく、三年生の時にヒメポタルを観察したキャンプ場や登山道入り口、スキー

教室で何回も行ったホワイトリゾートと、学習でも行くことがありました。歴史がある物がたくさん残っていて、自然が豊かなところも大好きな理由です。

その中でも特に気に入りの場所は、中の原のスキー場で、一番上から見える日本海や弓ヶ浜半島の景色は季節によつて見え方がちがいでとてもきれいです。ほかの県の人にも大山寺周辺の、み力が伝わっていくほしいなと思



あらまつ ほのか
荒松 萌乃華 (名和小)

家族の思い出

私のお気に入りの場所は田んぼです。私にとつて田んぼは、とても楽しい思い出の場所です。

リシーズンは母や姉とついでに父が仕事をしていたところに行っていました。たまに、田植え機に乗せてもらえることがあつて、とても楽しくうれしかったことを覚えています。

最近では、弟や妹が田植え機に乗って喜んでるところを見ると、とてもなつかしく感じます。私は家族との思い出の多い田んぼが大好きです。



たけした ゆずか
竹下 柚華 (中山小)

お気に入りの場所

私は大山町が大好きです。そんな大山町の中でも私の特にお気に入りの場所を紹介いたします。それは大山自然歴史館です。

なぜなら、大山自然歴史館では、大山の自然に

ついて分かりやすく紹介されているからです。写真、パネルや標本などもあり、大山のことをわしく学ぶことができます。私は大山自然歴史館に行くことから、大山の良さを感じる事ができました。



雪に恵まれたスキー場開き祭

あとがき

私は、森本議員の急逝により、広報委員の欠員補充ということで、同期ということもあり、議会だよりの編集に携わらせていただくことになりました。

議会だよりは、町民の皆さまのお声を町政に反映すべく議会で活動している議員と、町民代表として選んでくださった皆さまとの交流の場でもあります。

地味な部分が多い議会活動ですが、議員一人ひとりが、一般質問や議案の質疑を通して、皆さまから頂いた課題の解決に向けて取り組んでいる姿を、できるだけ分かりやすくお伝えできたいと思います。

門脇

- 発行責任者 米本 隆記
議長 池田 幸恵
広報常任委員会 委員 長 西本 憲人
副委員長 大原 広巳
委員 近藤 大介
委員 門脇 輝明
委員 島田 一恵
委員 豊田 哲也
委員 小谷 英介